

平成28年度事業報告書

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 法人の概況 | 1ページ～3ページ |
| 2. 公益目的事業 | |
| 【 総務部・業務報告 】 | 4ページ～10ページ |
| 【 供給部・業務報告 】 | 11ページ～14ページ |
| 【 血漿分画促進部・業務報告 】 | 15ページ |
| 3. 収益事業 | |
| 【 収益事業等の業務内容について 】 | 16ページ |
| 4. 附属明細書 | 17ページ～18ページ |

1. 法人の概況

1. 設立年月日

昭和42年1月23日

2. 主たる事務所の状況

主たる事務所: 東京都武蔵野市境南町一丁目26番1号

3. 定款第3条に定める目的

本事業団は、血液由来製剤等を必要とする患者、医療関係者及び医療機関に対し総合的な血液供給事業を行い、献血血液による血液事業の円滑かつ適正な推進及び発展に寄与することを目的とする。

4. 定款第4条に定める事業内容

- (1) 血液由来製剤(その代替製剤を含むものとし、以下「血液製剤」という。)等の供給
- (2) 血液製剤の需給に関する調査、研究
- (3) 医療機関への血液製剤に関する情報提供
- (4) 医療機関に対する血液製剤の適正使用のための啓発
- (5) 献血思想の普及向上のための活動
- (6) 献血血液の有効利用のための研究及び実践
- (7) その他本事業団の目的を達成するために必要な事業

5. 所管官庁等

公益認定申請に関すること: 内閣府

血液事業に関すること: 厚生労働省

6. 役員等に関する事項

- (1) 理事及び監事に関する事項(平成29年3月31日現在)

理事

定数 6人以上15人以内

現在数 常勤3名 非常勤11名 計14名

監事

定数 2人以内

現在数 常勤なし 非常勤 2名 計 2名

役 職	氏 名	常勤 非常勤の別	職 業
会長 (代表理事)	笹川 堯	非常勤	元 衆 議 院 議 員
理事長 (代表理事)	小松 博久	常勤	
専務理事 (代表理事)	北田 靖則	常勤	事務局長(兼務)
理事	浅野 茂隆	非常勤	東京大学名誉教授 神戸大学大学院医学系研究科連携大学院システム病態学講座客員教授 早稲田大学 招聘研究教授
理事	猪口 正孝	非常勤	公益社団法人 東京都医師会 副会長
理事	加藤 恒生	非常勤	日本赤十字社 東京都赤十字血液センター 所長
理事	後藤 明	非常勤	株式会社日赤サービス 専務取締役 元 日本赤十字社 東京都支部 事務局長
理事	笹川 和弘	非常勤	社会福祉法人親孝行の里 理事長 関東開発株式会社 代表取締役会長
理事	清水 勝	非常勤	医療法人西城病院 理事 元 日本輸血学会 会長
理事	須藤 尚義	非常勤	株式会社日赤振興会 専務取締役 元 日本赤十字社 血液事業本部 血液事業経営会議委員
理事	田原 良三	常勤	総務部長(兼務)
理事	日野 学	非常勤	日本赤十字社 血液事業本部 副本部長
理事	比留間 潔	非常勤	比留間医院 院長 元 都立駒込病院 輸血・細胞治療科部長
理事	松崎 政治	非常勤	日本赤十字社 パートナーシップ推進部長 兼 広報室長
監事	吹浦 忠正	非常勤	社会福祉法人 さぼうと21 理事長 元 埼玉県立大学 社会福祉学部教授
監事	金本 敏男	非常勤	公認会計士 金本敏男事務所 所長

(2) 評議員に関する事項(平成29年3月31日現在)

定数 6人以上15人以内

現在数 常勤なし 非常勤10名 計10名

役職	氏名	常勤 非常勤の別	職業
評議員	大平 勝美	非常勤	社会福祉法人はばたき福祉事業団 理事長
評議員	大給 乗龍	非常勤	株式会社日赤振興会 代表取締役 元 日本赤十字社 総務局長
評議員	笹川 善弘	非常勤	公益財団法人マリンスポーツ財団 理事長
評議員	中川原 米俊	非常勤	日本赤十字社 東京都支部 事務局長
評議員	中島 一格	非常勤	日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター 所長
評議員	橋爪 章	非常勤	公益財団法人放射線影響研究所 業務執行理事
評議員	花井 十伍	非常勤	特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権 理事
評議員	林 いづみ	非常勤	桜坂法律事務所・弁護士
評議員	前野 一雄	非常勤	独立行政法人 地域医療機能推進機構 理事 元 読売新聞東京本社 編集委員
評議員	湯浅 晋治	非常勤	順天堂大学 名誉教授 日本赤十字社 血液事業本部 相談役

2. 公益目的事業

【 総務部・業務報告 】

1. 車両整備及び無線設備

(1) 車両整備

(ア) 車両更新状況

- 平成28年度は緊急車両7台、普通車両1台の代替更新と普通車両1台の減車を行った。

	平成28年3月31日現在 保有車両台数	平成28年度 廃車	平成28年度 更新	平成29年3月31日現在 保有車両台数
緊急車両	56台	7台	7台	56台
普通車両	19台	2台	1台	18台
合計	75台	9台	8台	74台

(イ) 車両配備状況

	本部	供給部	辰巳支所・ 血漿分画促進部	立川支所	葛飾支所	血漿分画促進部 事業課 埼玉出張所	合計
緊急車両	—	23台	13台	15台	5台	—	56台
普通車両	1台	2台	10台	1台	1台	3台	18台

(2) 無線設備

(ア) 基地固定局・移動局配備状況

①基地固定局 6箇所

1:本部 2:供給部(新宿) 3:立川支所 4:辰巳支所 5:葛飾支所

6:血漿分画促進部事業課 埼玉出張所

②移動局

- 搭載車両 64台
- 防災用携帯機 11台

(イ) 無線機保有台数

	デジタル(GPS)無線機	アナログ無線機
基地固定機	8台	1台
移動(車載)機	64台	18台
防災用携帯機	6台	5台
予備	1台	2台
合計	79台	26台

(3) ドライブレコーダー配備(搭載)状況

	供給部	辰巳支所	立川支所	葛飾支所	合計
搭載(緊急)車両	23台	13台	15台	5台	56台
搭載(普通)車両	1台	2台	1台	1台	5台

(4) テレマティクス配備(搭載)状況

	本部	供給部	辰巳支所・ 血漿分画促進部	立川支所	葛飾支所	血漿分画促進部 事業課 埼玉出張所	合計
搭載(緊急)車両	—	23台	13台	15台	5台	—	56台
搭載(普通)車両	1台	2台	10台	1台	1台	3台	18台

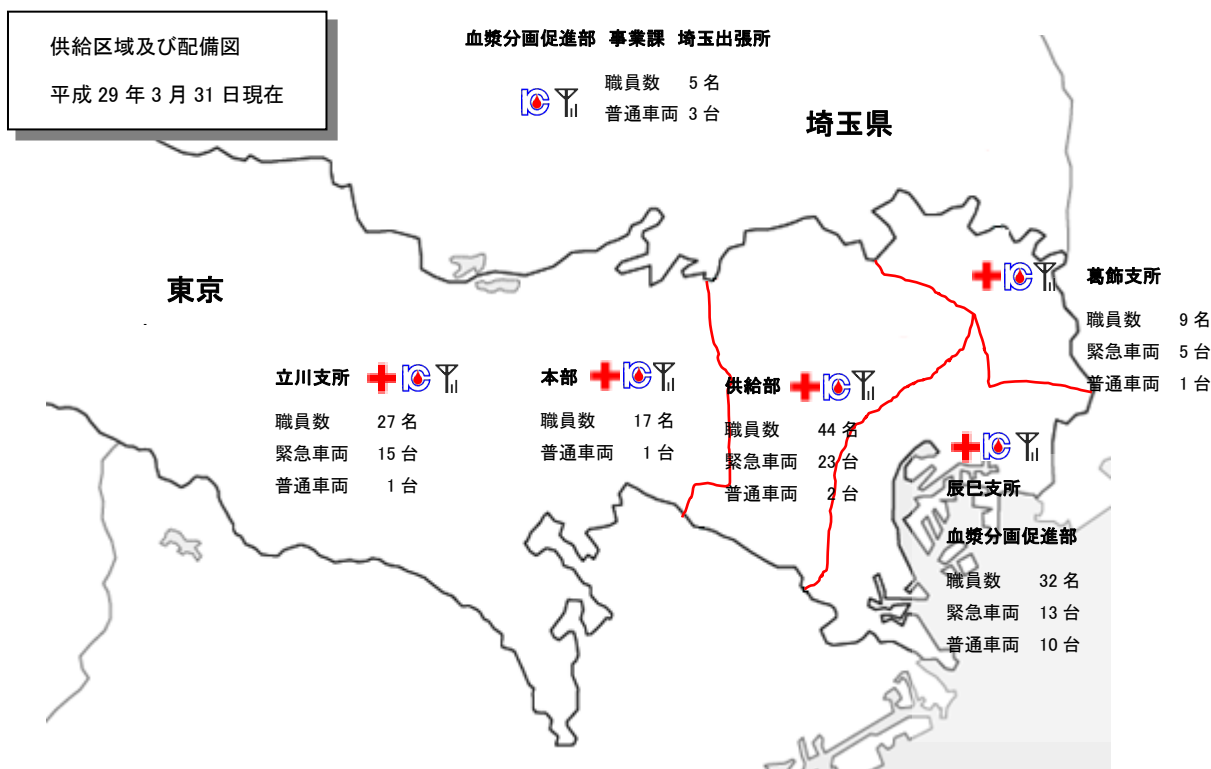
2. 職員の採用及び教育研修

(1) 職員数

		平成 28 年 3 月 31 日現在	平成 29 年 3 月 31 日現在	平成 29 年 4 月 1 日現在
職員数		133 名	134 名	136 名
内訳	男性正職員	109 名	111 名	114 名
	女性正職員	17 名	17 名	17 名
	男性嘱託職員	4 名	3 名	4 名
	女性嘱託職員	3 名	3 名	1 名

(2) 平成 28 年度採用・退職職員数

	採用職員	退職職員
男性職員	2 名	2 名
女性職員	0 名	0 名
男性嘱託職員	0 名	0 名
女性嘱託職員	0 名	2 名
合計	2 名	4 名



(3) 教育研修

研修種別	実施月	研修テーマ・内容		主催・講師等	参加人員
業務関連研修	4～6月	新入職員研修	新入職員として必要な知識の習得	総務部企画課	2名
	10月	管理職研修	テレマティクスサービス フォローアップ レポート分析	オリックス自動車	14名
	10・1・3月	二級主任研修	入団後2年経過した職員として必要な知識の習得	総務部企画課	3名
	2月	係長研修	赤十字減災セミナー	総務部企画課	23名
	随時	SOP 教育訓練	標準作業手順書の改訂	東京都赤十字血液センター	105名
	通年	GMP 教育訓練	輸血用血液製剤の出庫手順の変更他	東京都赤十字血液センター	82名
	通年	人事異動者対象教育訓練	輸血用血液製剤の取り扱い他	東京都赤十字血液センター	16名
	通年	職員研修	ビジネススキル関連他	トーマツ イノベーション	27名
安全運転研修	4月	自動車安全運転研修	新入職員コース	東急自動車学校	2名
	5・2月	緊急自動車安全運転研修	一般緊急自動車運転技能者コース	自動車安全運転センター	4名
	5～12月	自動車安全運転研修	定期研修コース	東急自動車学校	16名
	8月	自動車安全運転研修	臨時研修コース	東急自動車学校	1名
	5～2月	緊急自動車安全運転研修	緊急自動車安全運転教室	警視庁交通安全教育センター	14名
	10月	安全運転講習	交通安全運転講習会	東京都赤十字血液センター、 インターリスク総研	101名
	12月	自動車安全運転研修	安全運転指導者コース	レインボーモータースクール和光	2名
防災研修	6・12月	防災研修	日本赤十字社職員対象災害救護訓練	日本赤十字社 東京都支部	2名
	2月	防災研修	震災対策技術展	震災対策技術展事務局	2名
	2・3月	上級救命講習	救急法、AED講習等	東京防災救急協会	2名
医薬品研修	6月	血漿分画製剤研修	長期作用型血液凝固因子製剤について	バイオジェン・アイディック・ジャパン	31名
	7月	医療用器具研修	輸血関連製品について	川澄化学工業	61名
	9月	営業所管理者研修	医薬品医療機器等法及び品質管理	日本医療機器テクノロジー協会	5名

研修種別	実施月	研修テーマ・内容		主催・講師等	参加人員
医薬品研修	11月	血漿分画製剤研修	腹膜透析について	バクスター東京ビジネスセンター	25名
	11月	医療用器具研修	貯血式自己血輸血について	川澄化学工業	28名
	3月	血漿分画製剤研修	血漿分画製剤の知識と安全対策	日本血液製剤機構	35名
	3月	医薬品・高度管理医療機器等の研修	医薬品・高度管理医療機器等の適正管理	営業所管理者	117名
学会・セミナー	4月	第64回日本輸血・細胞治療学会総会(京都)	輸血から細胞治療への新展開	日本輸血・細胞治療学会	3名
	7月	第52回献血運動推進全国大会(渋谷)	献血の重要性和推進	厚生労働省、日本赤十字社	4名
	10月	第73回日本自己血輸血学会教育セミナー	適正な自己血輸血の実施と自己血輸血医師看護師制度の拡充に向けて	日本自己血輸血学会、東京都赤十字血液センター	1名
	10月	第40回日本血液事業学会総会(名古屋)	血液事業の新たなる地平～創造と転換～	日本血液事業学会	5名
	11月	第15回東京都輸血療法研究会	輸血と細胞治療	東京都福祉保健局、東京都赤十字血液センター	11名
	12月	平成28年度赤十字血液シンポジウム関東甲信越	輸血副作用とその対策、医療機関における輸血の課題	日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター	2名
	3月	第9回東京細胞治療検討会	多発性骨髄腫治療薬(抗CD38)使用時の輸血前検査について	東京都赤十字血液センター	2名

3. 輸血用血液の供給にかかる業務委託契約

- ・ 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センターとの上記契約による手数料については、次により契約実施した。

4. 調査研究及び広報普及事業

(1) 学会における演題の発表

第40回日本血液事業学会総会

於：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)

会期：平成28年10月4日～10月6日

演題：「新人教育研修における動画導入の取り組みについて」

演者：供給部供給課 主任 東村 晴樹

発表：平成28年10月6日

(2) 広報用カレンダーの作成・配布

- ・ 木製カレンダー1,520枚(授産製品:社会福祉法人より購入)

(3) その他、日常供給業務を通じた広報

(ア) 献血ルームにおける献血者への協力呼びかけ

① 夏季(8月16日～8月19日)延べ8名

② 冬季(1月11日、12日、17日、18日)延べ8名

(イ) 献血推進ステッカーの作成 140枚

- ・ 緊急車両56台、普通車両7台に表示

(ウ) 各団体への献血協力依頼

① 国会議事堂内献血:衆議院 平成28年4月20日
(献血者数131名)

② 国会議事堂内献血:参議院 平成28年9月13日
(献血者数121名)

③ 笹川記念館:6階会議室 平成28年10月6日
(献血者数88名)

(エ) サマーキャンプへの参加

むさしのヘモフィリア友の会 サマーキャンプ(荻窪病院)

平成28年8月5日～8月7日

(参加職員数2名)

5. 防災訓練

・ 防災訓練の参加及び実施

- ① 東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練参加 平成 28 年 9 月 4 日
- ② 献血供給事業団自主防災訓練実施 平成 28 年 9 月 6 日
- ③ 東京都・大島町・利島村合同総合防災訓練参加 平成 28 年 11 月 21 日

東京都・葛飾区・墨田区合同総合防災訓練



1. 緊急医療物資搬送訓練

(職員 5 名 車両 1 台 参加)



2. 緊急車両展示

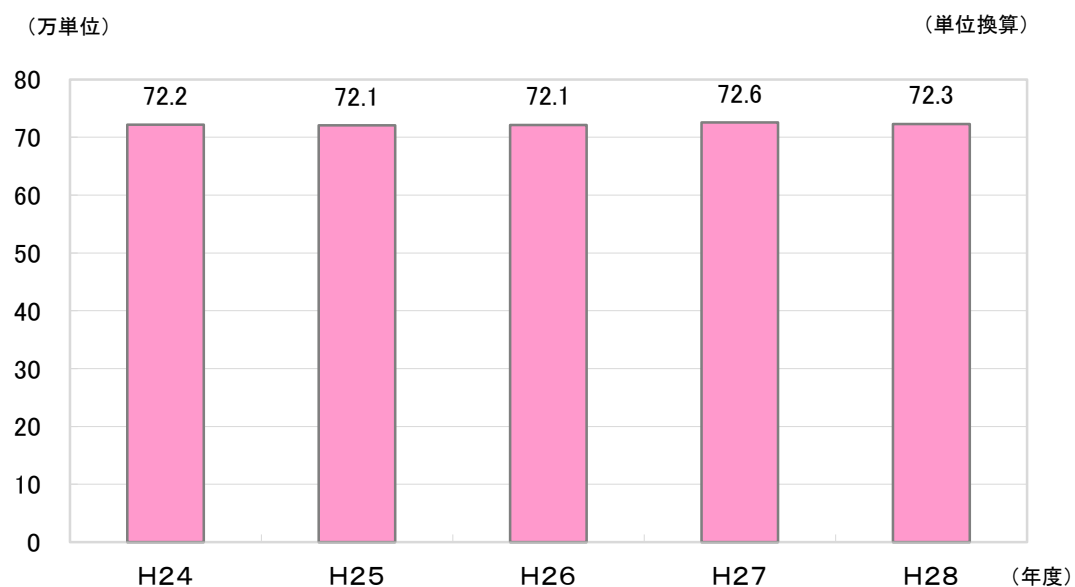
(職員 5 名 車両 1 台 参加)

【 供給部・業務報告 】

1. 輸血用血液供給実績

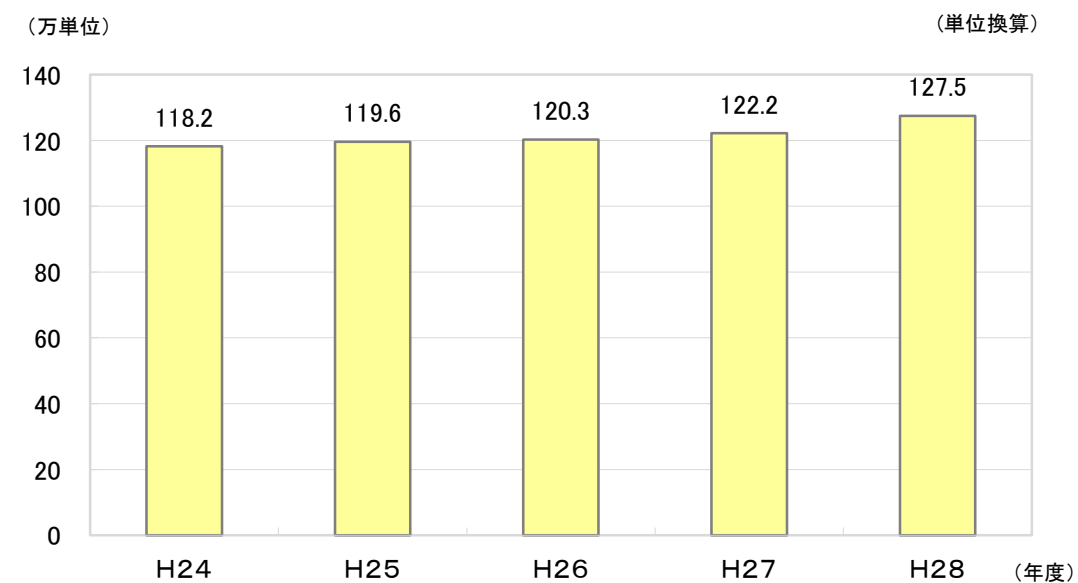
(1) 赤血球

平成28年度 723,046 単位



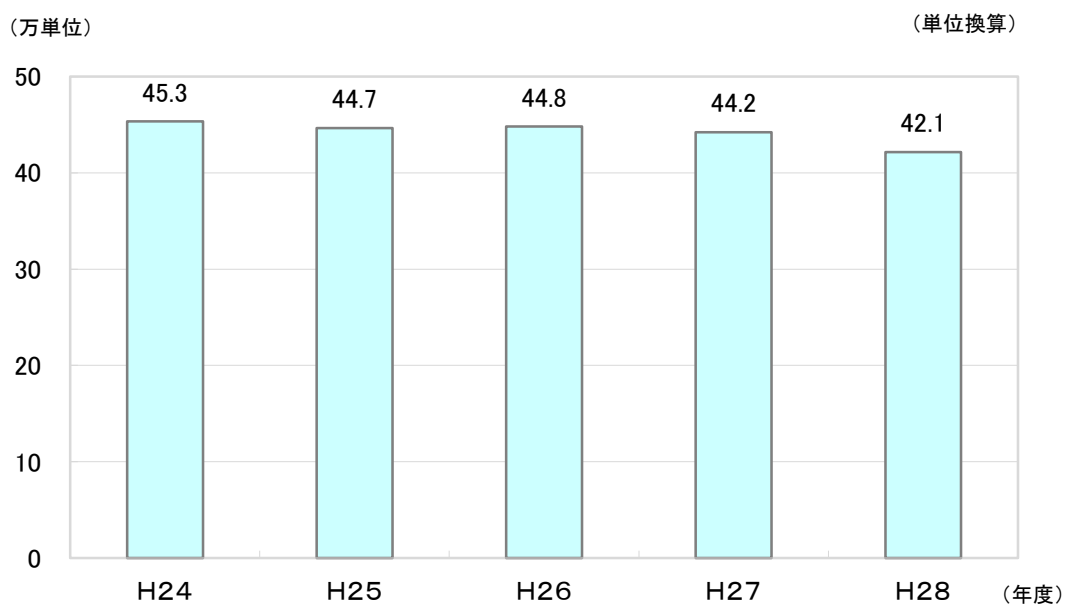
(2) 血小板

平成28年度 1,275,081 単位



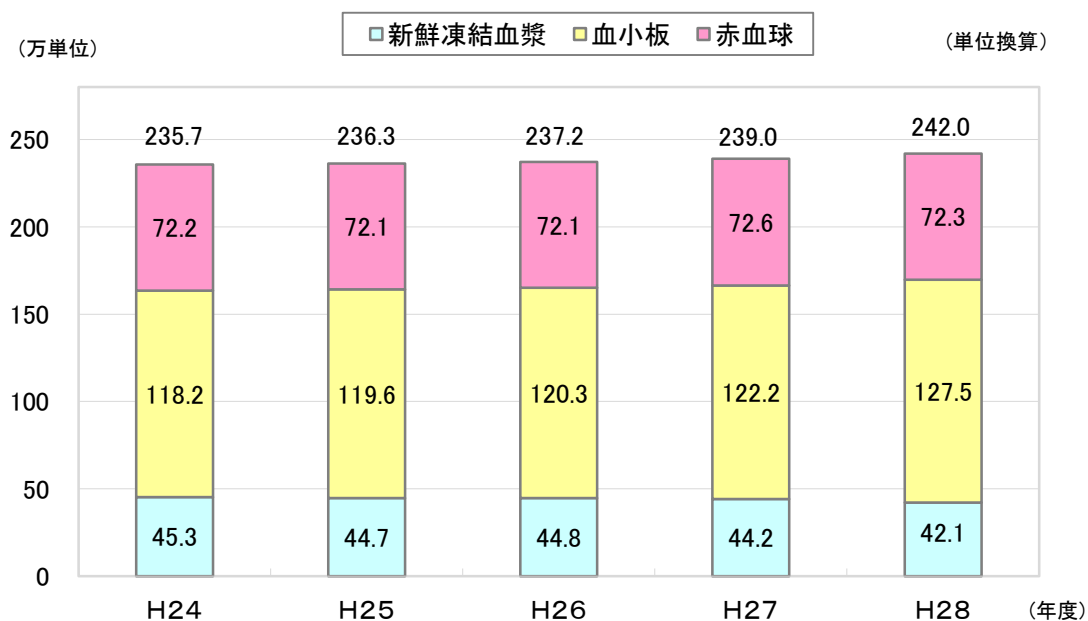
(3) 新鮮凍結血漿

平成28年度 421,404 単位



(4) 総供給数

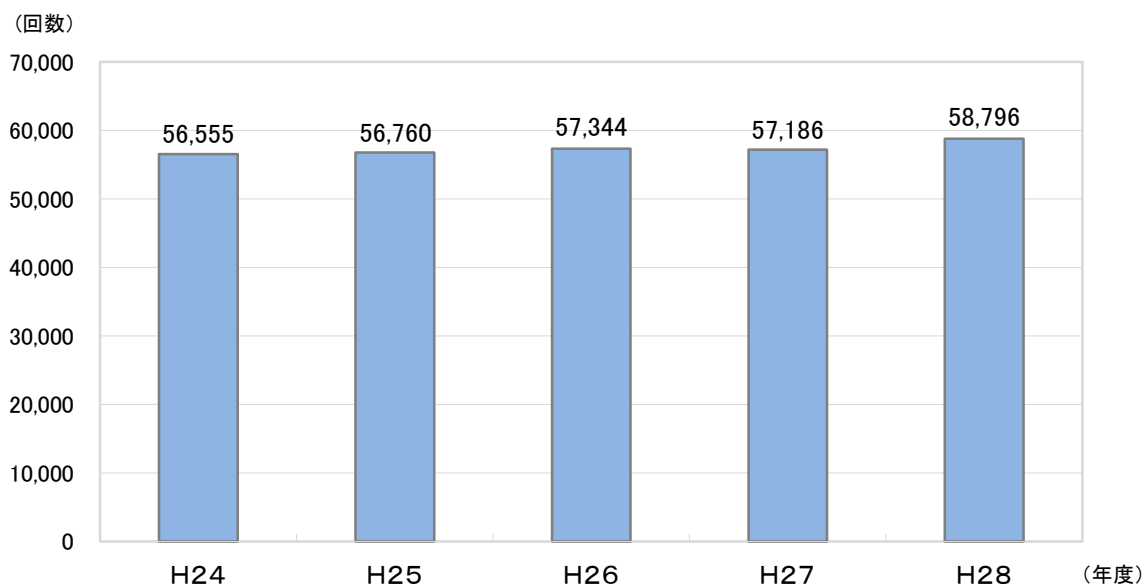
平成28年度 2,419,531 単位



2. 供給出動状況

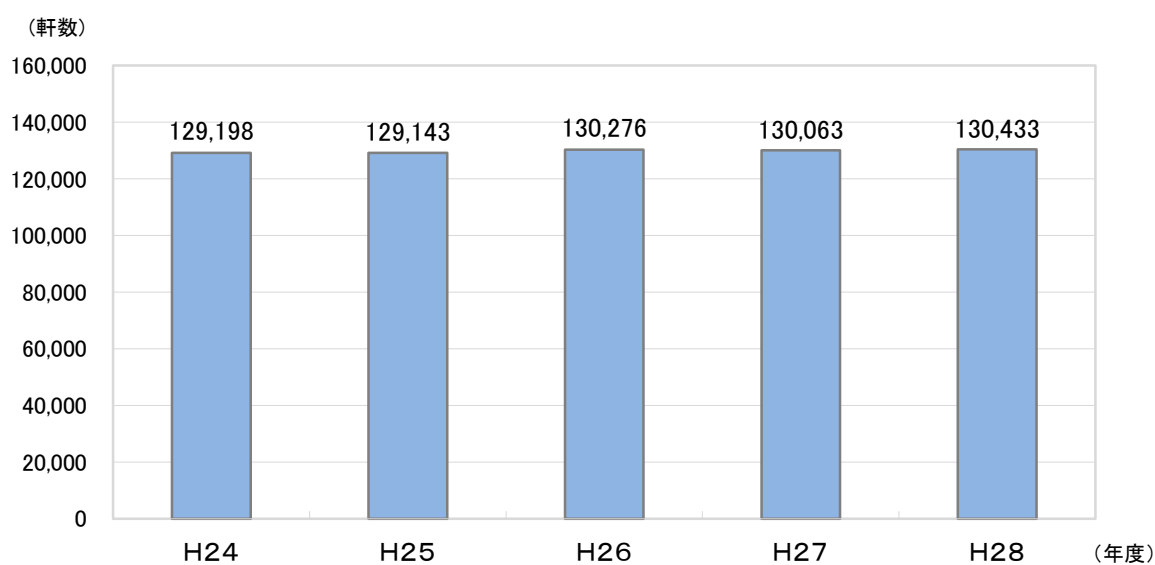
(1) 出動回数

平成28年度 58,796 回



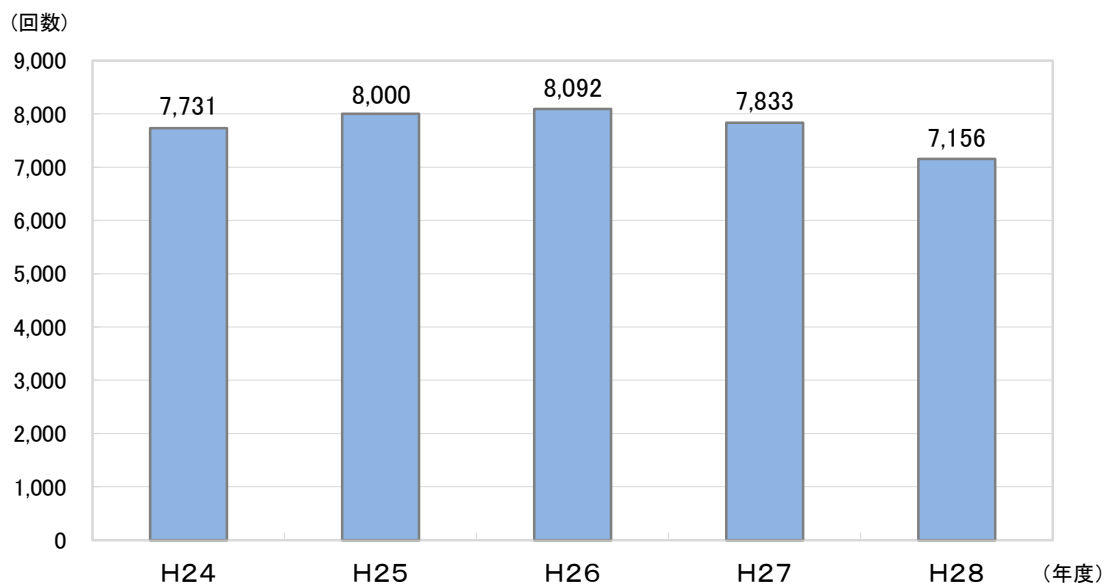
(2) 供給軒数

平成28年度 130,433 軒



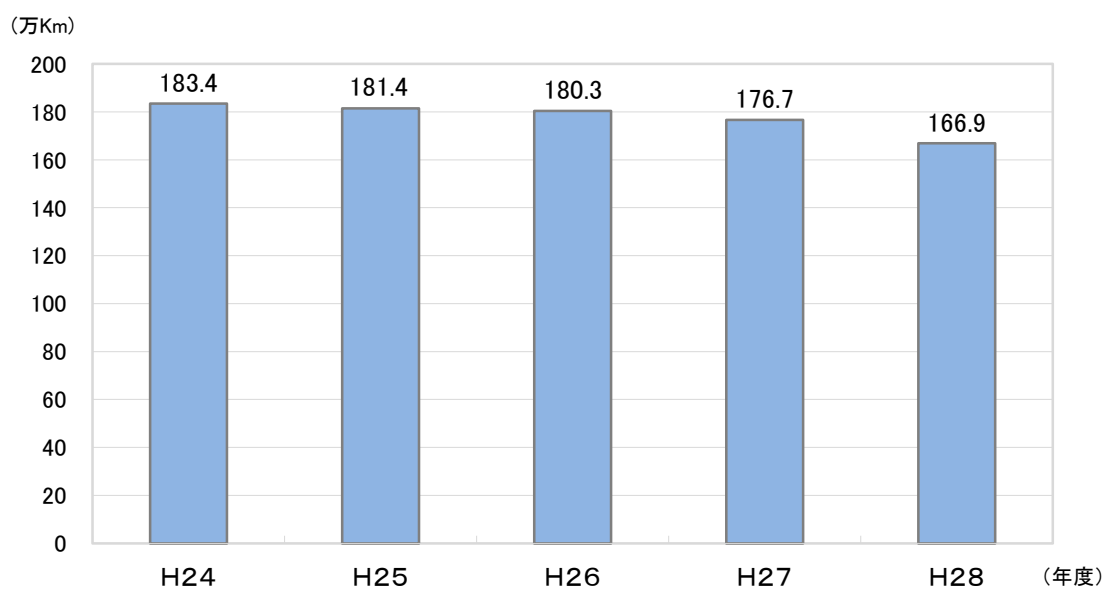
(3) 緊急出動回数

平成28年度 7,156 回



(4) 走行距離

平成28年度 1,669,143 km

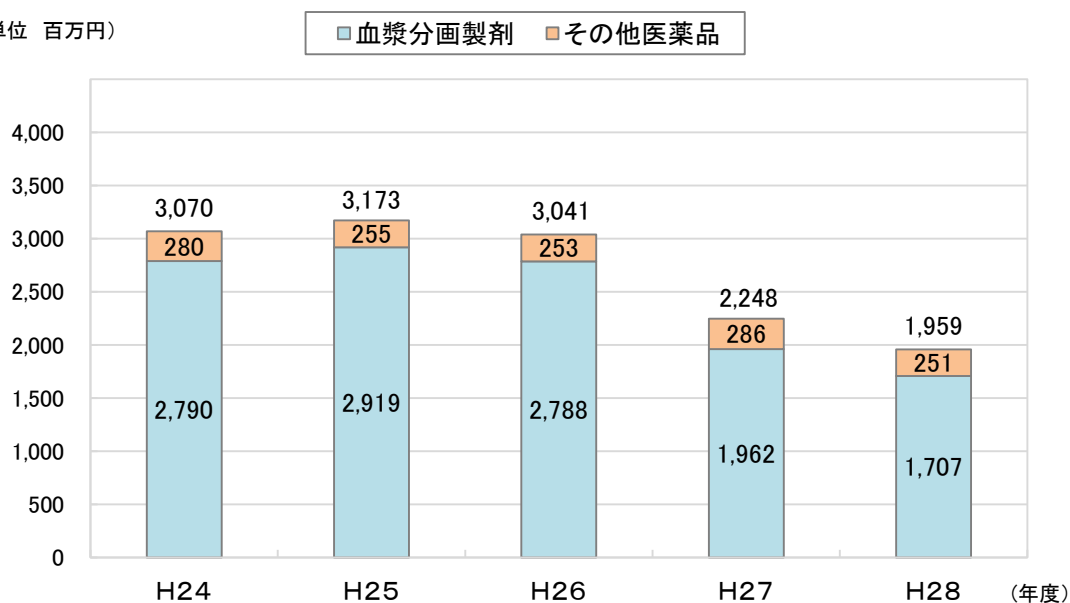


【 血漿分画促進部・業務報告 】

1. 血漿分画製剤、その他医薬品の総供給金額

平成28年度 1,958,693,903 円

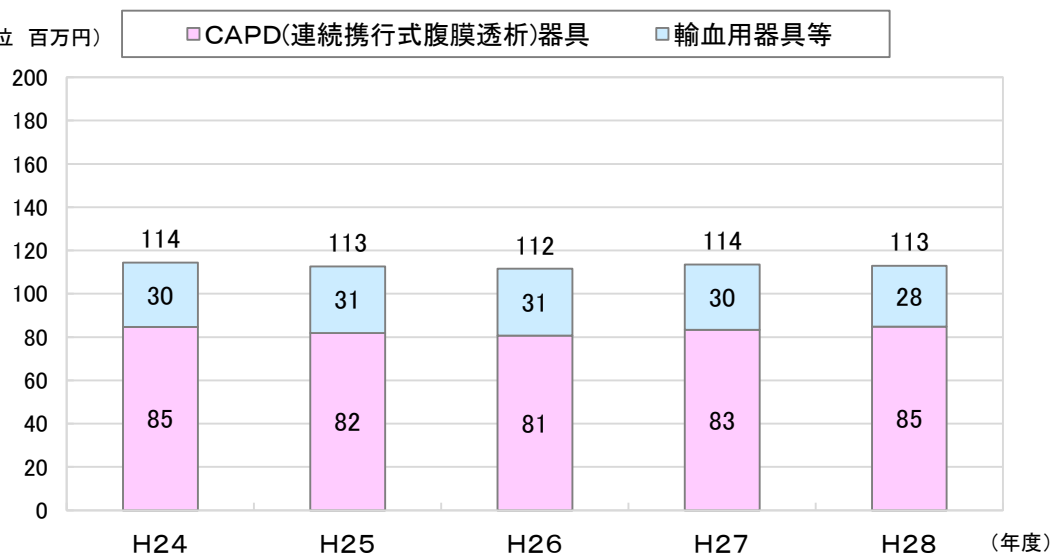
(単位 百万円)



2. 高度管理医療機器等の販売

平成28年度 112,984,070 円

(単位 百万円)



3. 収益事業

【 収益事業等の業務内容について 】

概 要

血液センターの移転等により未使用となった供給基地等の物件を、当事業団とは利害関係の無い第三者に賃貸している。No. 5「横浜市さちが丘 2階建て住宅」及びNo. 7「新潟市女池 駐車場」については、第18回臨時理事会（平成28年11月8日）及び第10回臨時評議員会（平成28年11月16日）で承認されたため、売却した。

No.	物件	住所	賃借人	賃貸料収入 合計
1	3階建て建物	葛飾区立石	法人	19,823,130円
2	3階建て建物	練馬区早宮	法人	
3	2階建て住宅	町田市図師町	個人	
4	2階建て住宅	町田市図師町	個人	
5	2階建て住宅	横浜市さちが丘	個人	
6	マンション1室	渋谷区広尾	個人	
7	駐車場	新潟市女池	法人	

4. 附属明細書

1. 役員等に関する事項

事業報告1ページ～3ページに記載のとおり

2. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日等	決議事項	結果
第17回通常理事会 平成28年5月26日	第一号議案 平成27年度事業報告の件 第二号議案 平成27年度決算報告及び監事の監査報告の件 第三号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 報告事項 (1)葛飾区東四つ木の土地・建物の売却等について (2)平成28年度の職務執行の状況について	承認 承認 承認
第18回臨時理事会 平成28年11月8日 (みなし決議)	理事会の決議があったものとみなされた事項の内容 1 重要な財産である新潟市女池の土地を売却する 2 重要な財産である横浜市さちが丘の2階建て住宅(土地・建物)を売却する 3 上記に関する売却先及び売却金額は代表理事に一任する 4 評議員会の決議の省略についての承認の件について 5に係る評議員会の決議について、定款第25条の規定に基づき、評議員会を開催することなく、決議の省略の方法により行うこと 5 評議員会の決議事項 (1)重要な財産である新潟市女池の土地を売却する (2)重要な財産である横浜市さちが丘の2階建て住宅(土地・建物)を売却する (3)上記に関する売却先及び売却金額は代表理事に一任する	承認 承認 承認
第19回通常理事会 平成29年3月23日	第一号議案 重要な使用人の選任の件 第二号議案 平成29年度役員報酬の件 第三号議案 平成29年度事業計画(案)の件 第四号議案 平成29年度収支予算(案)の件 報告事項 第17回通常理事会以降の職務執行の状況について	承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日等	決議事項	結果
第8回臨時評議員会 平成28年4月12日 (みなし決議)	評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容 1 葛飾区東四つ木の土地を基本財産から除外する 2 重要な財産である葛飾区東四つ木の土地、建物を売却する 3 上記に関する売却先及び売却金額については代表理事に一任する	承認 承認 承認
第9回定時評議員会 平成28年6月14日	第一号議案 評議員会の議長及び議事録署名人選出の件 第二号議案 平成27年度事業報告の件 第三号議案 平成27年度決算報告及び監事の監査報告の件 報告事項 (1)葛飾区東四つ木の土地・建物の売却等について (2)平成28年度の職務執行の状況について	承認 承認 承認
第10回臨時評議員会 平成28年11月16日 (みなし決議)	評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容 1 重要な財産である新潟市女池の土地を売却する 2 重要な財産である横浜市さちが丘の2階建て住宅(土地・建物)を売却する 3 上記に関する売却先及び売却金額は代表理事に一任する	承認 承認 承認

3. 所管官庁への主な届出事項

届出年月日	届出事項	所管
平成28年5月23日	・平成26年度事業報告書の修正	内閣府
平成28年6月17日	・平成27年度事業報告書(収支決算書)の提出	内閣府
平成28年9月29日	・平成27年度事業報告書の修正	内閣府
平成28年12月16日	・変更届出書 (医薬品・高度管理医療機器販売業の許可証等)	内閣府
平成29年3月30日	・平成29年度事業計画書等の提出	内閣府

4. 内閣府による立入検査に関する事項

立入検査は実施されませんでした。

5. 法人の課題

該当する事項はありません。

6. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

該当する事項はありません。